



2026
AUG

8

ROTARY International District 2760
GOVERNOR'S
Monthly Letter

2026-27

❖ 国際ロータリー第2760地区 ガバナー月信 vol.2 ❖



ROTARY International District 2760

GOVERNOR'S Monthly Letter 2026-27

国際ロータリー第2760地区 ガバナー月信 vol.2

2026
AUG

8

Contents 目次

- 1 表紙
- 2 表紙の話(説明文)
Contents
- 3 ガバナーメッセージ
- 4 8月 会員増強・新クラブ結成
推進月間に寄せて
- 5 ガバナー活動報告
7月14日開催 クラブ活性化セミナー開催報告
- 7 ガバナー活動報告
7月14日開催 クラブ活性化セミナー報告
ワークショップ

表紙の写真について



2026年4月5日に名古屋マリオットアソシアホテルでクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーが開催されました。

特別講演では国際ロータリー第2840地区パストガバナーの田中久夫氏が登壇し、ロータリークラブを楽しむ秘訣を面白おかしくユーモアを交えて語られました。



ロータリアンのためのハンドブック

「そうだったのか！？ロータリークラブ！！」もご紹介

特別講演では、田中久夫氏の著書「そうだったのか！？ロータリークラブ！！」が紹介されました。

本書はロータリークラブをより楽しむためのコツだけでなく、会員増強や退会防止といった各クラブが抱える課題を解決するヒントも網羅されており、今後のクラブ運営に大変役立つ一冊となっています。

地区幹事 山田哲也



GOVERNOR'S MESSAGE

ガバナーズメッセージ 2026 年 8 月号



国際テーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」のもと「元気に なかよく 楽しく そして高潔に」を地区方針とし、「新たな視点からの挑戦」をサブテーマに始動させていただきました。

多くの方々から、単純だけどわかりやすくいいね、「そして高潔に」が心に響くよ、ロータリアンとしての姿勢を正す良い機会にしたいなど、嬉しいお言葉をたくさんいただきそれを糧に素晴らしい1年にしたいと思います。

新年度が始まり、1か月が過ぎました。この間、愛知県知事、名古屋市長への表敬訪問および、全ての委員会に出席させていただき、目まぐるしくありましたが実りある日々でした。知事、市長には「ポリオ撲滅」と「日本の子どもの疲弊」への募金活動内容をはじめ、各クラブの活動概要を報告して参りました。各委員会では、委員長はじめ委員の熱い議論の中に参加し、活動計画と「想い」を知ることができました。

さて、国際ロータリーの第1の目標は会員増強であり、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。7月14日開催のクラブ活性化セミナーは「退会防止」をテーマとしました。講師でお招きした菅原裕典国際ロータリー第1地域行動計画推進リーダー（APC）は「1クラブ1名の純増」を目標にとの激励をいただき、出席された全84クラブの会長、関係委員長と意思を一つにできたことと思います。1名の純増は簡単そうですが、なかなか大変な数字です。自然減少は致し方ありませんが、ふとしたきっかけや、日ごろのコミュニケーション不足での退会が生じることは防ぎたいものです。私もこんな経験をしました。退会された会員が親しい方に吐露されたことは、地区に出向したり、クラブ内で委員長などをしたりして積極的に奉仕活動をしたかったとの事。ショックでした。ご多忙の様子であまりクラブ運営に積極的でないグループの席にいつもおられたので、多くの歴代幹事も見過ごしていたようです。クラブ内での会話の大切さを痛感しました。

衛星クラブの結成が当地区でも動き始めています。ロータリーの基本である「4つのテスト」、DEIの行動規範などを幅広く社会に広める一つの手段でもあり、今後の会員増強の強力な手法の一つであります。女性会員の増加も大きな力となります。クラブに女性の姿が増え始めると、その女性のネットワークが力を発揮します。是非、門戸を広げ多様な人間関係を築いて下さい。

インカ会長はメッセージの中で多くのストーリーを紹介されています。ロータリーでの出会い、経験がどのように自分を変容させたかを問うておられます。ロータリー活動の中で皆、かけがえのないストーリーをお持ちではないでしょうか。今年度は公共イメージ向上委員会が中心となり、クラブでのストーリー、会員のストーリーを多く集めたいと思います。多くのストーリーを共有することが会員増強へのヒントになることを確信します。

気象用語に「酷暑日（40度以上）」が定められ、7月21日には早々と報じられ「危険な暑さ」との表現が過酷さを物語ります。地区として7月から10月まではクールビズと定め、ガバナー公式訪問、ガバナー補佐訪問、委員会などはノーネクタイでの出席とします。会員の皆さまにおかれましては、体調管理に留意され「酷暑」を無事乗り切られることを祈念申し上げます。



2026-27年度ガバナー **國府谷 俊盛**

会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて



2025-26 年度会員増強委員会 最終委員会

毎年8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

2026-27 年度の地区方針の中で、國府谷ガバナーは、会員増強の「3つのポイント」として、「入会促進」「参加促進」「新クラブ結成」を掲げています。

これを踏まえ、地区会員増強委員会は、2026-27 年度から委員会内に「3つのポイント」を担当する「3つのグループ」を設けました。

地区会員増強委員会は、2026-27 年度も年間4回のセミナーを予定しています。8月の「会員増強・新クラブ結成推進月間」が始まるのに合わせ、「入会促進」「参加促進」「新クラブ結成推進」という会員増強の全体像を扱う「会員増強セミナー」を7月31日に開催させて頂くのを皮切りに、11月20日は会員増強セミナー【入会促進編】を、2027年2月12日には会員増強セミナー【参加促進編】を、そして、2027年5月19日には会員増強セミナー【新クラブ結成推進編】を予定させて頂く中で、会員増強の「3つのポイント」を深掘りできればと予定しております。

國府谷ガバナーは本年度、「女性会員の増強」にも力点を置かれています。地区会員増強委員会は、地区内の各分区から出向して頂いた13名で構成され、その内4名が女性であり、また、ローターアクトも配属され、とてもバランスの良い委員会構成という強みを活かし、「女性会員の増強」にも取り組んで参ります。

8月の「会員増強・新クラブ結成推進月間」を中心に、年間を通して「会員増強卓話」にも随時対応させて頂く中で、「入会者より退会者の方が多い」という状況に歯止めを掛けると共に、「持続可能なクラブづくり」のお手伝いをさせていただきます。

一緒に、『熱い夏』を乗り切りましょう！



会員増強委員会委員長

木所 壮太

豊橋東ロータリークラブ



2025-26 年度衛星クラブ説明会



犬山白帝ロータリー衛星クラブ チャーターナイト

7月14日開催クラブ活性化セミナー開催報告



國府谷俊盛ガバナー挨拶及び趣旨説明

会員の皆様には、日頃よりロータリー活動に格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。去る7月14日(火)、ウインクあいち5階 小ホール2を会場に、「2026-27年度クラブ活性化セミナー」を開催いたしました。地区内84クラブから約270名にご参加いただき、盛会のうちに終えることができましたことを、まずご報告申し上げます。

本セミナーは「～会員がやめないクラブづくり～」を副題に掲げ、クラブの活性化と会員定着を目的として実施したものです。國府谷俊盛ガバナーは本年度、「持続可能なインパクトを生み出そう」というRI会長メッセージのもと、「元気でなかよく 楽しく そして 高潔に」を地区方針として掲げておられます。クラブの活性化を図るための会員増強と、奉仕活動の原動力となる親睦活動への注力を運営の重点方向として示しつつ、ポリオ根絶・子どもの貧困対策を重点施策に位置づけた、前向きで倫理的な活動の推進を訴えておられます。本セミナーは、その方針を地区全体で共有し、各クラブが具体的な行動に踏み出すための大切な機会として位置づけられました。

セミナーは15時30分の開会とともに幕を開け、司会を務めさせていただいた私から開会をお伝えした後、國府谷ガバナーの趣旨説明に続き、地区ラーニングファシリテーター 酒井法丈氏、地区行動計画推進リーダー 伊藤靖祐氏よりご挨拶と行動計画についてのご説明をいただきました。さらに、地区ロータリー財団委員会・会員増強委員会・公共イメージ向上委員会・危機管理委員会より、それぞれの活動方針についてご報告いただきました。

本セミナーの中心となったのは、国際ロータリー第1地域 行動計画推進リーダー (APC) 菅原裕典氏 (仙台泉ロータリークラブ) による講演「退会防止について」です。菅原氏は国際ロータリー第2520地区パストガバナーとして豊富なお経験をお持ちであり、2024-26年度にはAPCとして第1地域全体の行動計画をリードされてきた方です。ご講演では、会員が退会を選択する背景にある課



地区副幹事

藤原 浩章

名古屋東ロータリークラブ

題を多角的に分析され、各クラブが主体的に取り組むべき具体的な改善策を、実例を交えながらわかりやすくご提示いただきました。「クラブ同士・会員同士が連携し、前向きで倫理的な活動を推進する」という年度全体の方針とも深く呼応した内容であり、参加者からも大きな共感と刺激が感じられました。

講演後は、10 会場に分かれてのワークショップ（グループディスカッション）を 17 時 10 分から約 80 分にわたり実施しました。各グループ 15～16 名で構成され、ラーニング委員会のファシリテーターが議論を先導する形で、会員増強・親睦活動の充実・退会防止策など多岐にわたるテーマについて活発な意見交換が行われました。クラブの規模や雰囲気それぞれ異なる中、忌憚のない意見が飛び交い、会場各所で熱気あふれる議論が展開されました。セミナーの締めくくりとして、國府谷ガバナーによる総括と、直前ガバナー 鈴木康仁氏からの温かい講評をいただき、18 時 45 分に閉会いたしました。

今回のセミナーを通じて、「元気で なかよく 楽しく そして 高潔に」という方針が単なるスローガンではなく、会員一人ひとりが日々の例会や奉仕活動のなかで体现すべき姿勢であることを、改めて深く認識いたしました。ポリオ根絶・子どもの貧困対策をはじめとするロータリーの重点分野においても、まずは足元のクラブを活性化し、会員の絆を強くすることが、大きな奉仕の力へとつながると確信しています。各クラブにおいて、本セミナーでの学びを具体的な行動へと結びつけていただければ幸いです。

ご多忙の中ご参加いただいた約 270 名の皆様、また準備・運営にご尽力いただいたガバナースタッフの皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。今後とも地区活動へのご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



RI 第1 地域行動計画推進リーダー菅原裕典氏による講演



江川泰彦地区ロータリー財団委員長による説明

7月14日開催 クラブ活性化セミナー 報告ワークショップ



退会防止について議論

国際ロータリー第1地域行動計画推進リーダーである仙台泉ロータリークラブの菅原裕典様の退会防止に関する講演を拝聴した後、10の分科会に分かれて80分のディスカッションを行いました。当日はエレベーターの混雑等で複数の分科会グループで開始が10分程度遅れるトラブルは見られたものの、限られた時間の中で非常に熱意ある議論が展開されました。

討議の中心となった「会員増強」と「退会防止」については、各クラブの規模や取り組む姿勢の違いが顕著に表れました。会員増強に関しては、新年度に向けて高い目標を掲げ「増やすこと」に注力する前向きなクラブが多く、ホームページやYouTube等の外部発信を強化する必要性が共通の認識として語られました。一方で、より切実な問題として浮かび上がったのが、団塊世代の高齢化に伴う「退会防止」の難しさです。例会場への送迎や、例会に現れなくなった会員の職場へ手土産を持参してアプローチを試みる等、各クラブが引き留めに向けて涙ぐましい努力を重ねる実態が報告されました。しかし、車椅子の送迎を「迷惑をかけるから」と辞退され退会に至るなど、高齢化対策の限界も浮き彫りになっています。さらに若いロータリアンの育成の必要性や、地区補助金申請手続きの難度、財団への温度差といった実務面での課題に加え、事前アンケートの回答結果がクラブ内で十分に共有されていないという意識の乖離もありましたが、今回の討議で得られた各クラブの共通する問題意識と具体的な実践例は、今後の地区全体の活性化において、極めて重要かつ有意義な指針となるものだと思われました。



地区ラーニング委員会委員長

杉浦 定文

名古屋名北ロータリークラブ



補助金を使った奉仕事業の現状について討論